

「理工チャレンジ」研修レポート～三井金属株式会社セラミック事業部～

令和7年11月19日、男女共同参画審議会委員と人権推進課で、「夏の理工チャレンジ」開催実績のある三井金属株式会社（大牟田工場 セラミック事業部）に研修へ行きました。



内容と目的

理工チャレンジ、通称「リコチャレ」は、「女性の進路に選択肢を増やす」ことを目的に、企業や大学などが女子児童生徒向けに職場体験、女性職員との交流などを行うものです。大津町でも、女子児童生徒と企業が繋がる機会を創出したいと考え、企画・運用を学ぶために研修をしました。

イベントプログラム

- 1 会社概要、製造品や取り組み紹介
- 2 工場見学、お仕事体験
- 3 ロールモデル講演（オンライン）
- 4 社員との交流会



プログラム詳細

- 1 三井金属の創業から鉱業での発展、セラミック製造への変遷など、世界に誇るモノづくりへの挑戦とイノベーションの歴史についてプレゼンテーションがありました。
「理工チャレンジ」をはじめ「小学校出前講座」や「家族の工場見学」など、地域貢献や社員のワークライフ・バランス向上など、社会構成員としての取り組みについても紹介がありました。
- 2 セラミック製造の、材料調合、焼き付けなどについて、大きなミキサーと超高温の炉を見学しながら、社員や技術者から製造工程の解説を聴かせてもらいました。簡単な理学・工学講座のあと、実際に顕微鏡観察や検査装置の操作を体験し、理工系分野への興味関心が高まりました。
- 3 女性社員から、育った環境や学生時代の興味関心、進路選択に影響したエピソードや仕事のやりがいなど、実体験に基づく講話を聞くことで、理工系分野で活躍する女性モデルの考え方やライフスタイルに触ることができました。
- 4 イベントに携わった社員チームと参加者の交流がありました。（実際のイベントでは参加者にお弁当をふるまうランチ会、町研修では意見交換会）。参加者からは当日の感想や質問、社員からは参加動機やイベントで体験したことなど、自由に意見交換を行い、アンケート実施によって具体的なフィードバックをされました。

研修レポート



製造工程見学や検査実験で工場のお仕事に触れることができ、面白かった！

理工分野で活躍する女性の進路選択や働く環境について詳しく聴けてためになつた♡

会社の歴史や、サービス、地域貢献の取り組みなど、わかりやすく学べて楽しい♪

イベント開催のため、チームワークを強めながら地域貢献を目指す姿が素敵だった！

企業から

企業の歴史や取り組みを伝えることで、会社への誇りと帰属意識が高まり、工夫や協力を通じて結束力が強くなったと感じます。夏の恒例行事として認識していただけるよう、地域のみなさんとの繋がりにも力を入れ、今後も地域に愛される企業を目指していきたいです。



審議会委員から



若年女性の都市流出は深刻な課題。

職場とは、仕事の内容だけではなく、社員の楽しい雰囲気や一人一人が会社のために頑張っている姿を見て、「ここで働いてみたい」という安心感があることも大切だと感じた。町にも素敵な企業がたくさんあるはず！

担当所感

理工チャレンジは、女子児童生徒の進路選択肢を広げるだけではなく、イベント開催の過程で多くの人の想いが重なり、企業にも地域にも多くの成果をもたらす可能性を感じました。
会社のことを知ってもらいたい、また地域と繋がり、役に立ちたいと考える事業所は、ぜひ開催をご検討ください。

お礼のことば

本研修のために、「夏の理工チャレンジ」イベントを再現し、

企画運営について詳細にご教示いただいた

三井金属株式会社大牟田工場セラミック事業部様に

改めて感謝を申し上げます。

温かなお心遣いとご協力、誠にありがとうございました